

中井 優季さん

Yuuki Nakai

児童館職員

1986年、福島県いわき市生まれ。同県立磐城桜が丘高校から実践女子大学生活科学部生活文化学科保育士コース（現・幼児保育専攻）卒。現在、東京都日野市立さかえまち児童館に勤務。夫と3歳の男児の3人家族



進路を切り開いた ボランティアでの出会い

母が健康体操教室を開いており、子どもの頃から、さまざまな世代の人と交流する機会に恵まれていました。そうした中で教育に関係した仕事に就きたいと考えるようになり、実践女子大学に入学。東京都日野市にあるキャンパス周辺が故郷の風景に似ていたことも、決め手の一つです。

学生時代はボランティアとして、保育園や幼稚園、児童養護施設などに赴き、さまざまな子どもたちと触れ合うことを心がけました。4年生の時、そうした活動で知り合った日野市の児童館職員の方による勧めが、この道を目指すきっかけでした。

人口約18万人の市には10カ所の児童館があり、0～18歳までの幅広い層の子どもたちの子育て・子育て支援を行っています。母校の後輩たちが手伝ってくれることもあるんですよ。私は、音楽に合わせて親子が一緒になつて行うリトミックや、地域の方々などの協力による、もちつき大会や子どもまつりなどの催しの企画・運営に関わっています。

家庭や地域、学校と連携していく児童館の役割は大きく、やりがいのある仕事です。地域の声を拾い上げ、それを還元していくことを意識しながら、新たな企画の立案にも取り組んでいきたいと思っています。



乳幼児連れの母親たちとリトミックを行う中井さん（中央）



男女共同参画推進担当理事
人間社会学部長

広井多鶴子教授

実践は2014年から日野と渋谷の2キャンパス体制になりました。日野にある生活科学部は、人々の生活と健康を科学する学部です。中井さんはそうした学部の理念そのままに、児童館の職員として地域の人々の生活を支えています。この仕事は一般にはあまりよく知られていませんが、子どもたちに居心地のいい安心できる居場所を提供するとともに、子育てを支援するととても重要な仕事だと思います。